

県連だより

OITA CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

No. 101

December 2018
大分県生活協同組合連合会

〒870-0278 大分市青崎1-9-35
TEL 097-527-4056 FAX 097-527-4084

おおいたの生協



ボーリング大会スタート



役職員研修会来賓あいさつ



平成31年度県へ要望書提出



生協大会講師

CONTENTS

第6回県連主催会員生協監事研修会を開く	2
平成31年度	
大分県予算編成並びに行政執行に関する要望書提出	3
第24回大分県生協大会開催	4
2018年度役職員研修会開催	5
県生協連主催	
第29回スポーツ交流会が開かれた	6
コープおおいたが	
「厚生労働大臣表彰」を受賞しました！	7

OITA CO-OP TOPICS

生活協同組合コープおおいた	8
日田市民生活協同組合	9
グリーンコープ生活協同組合おおいた	10
大分県学校生活協同組合	11
大分大学生生活協同組合	12
大分県労働者総合生活協同組合	13
大分県勤労者医療生活協同組合	14
大分県医療生活協同組合	15
大分県福祉生活協同組合	16

第6回県連主催会員生協監事研修会を開く

県連主催の会員生協監事研修会は、9月28日（金）に大分市中央町の全労済ソレイユ3階水仙の間で、県連及び会員生協の監事が28名が参加して開催されました。

研修会は、冒頭に青木博範県連会長理事が主催者のあいさつの後に講演となりました。

講演は、日本生活協同組合連合会総合運営本部法規会計支援部の岡坂充容が、「業務監査と監査調書作成のポイント」と題して講演されました。

講演内容は、はじめに、監事を取り巻く環境の変化として、内部統制システムの見直し、公認会計士監査基準の改正、民放改正、収益認識会計基準、消費税増税等、よって、本日の目標は、（1）監事による業務監査の目的はなにか、（2）業務監査の方法、事例の紹介、（3）監査調書作成のポイント、（4）関連資料とお知らせ。再確認として監事の職務の基本として、1. 組合の機関、2. 役員（理事と監事）と組合との関係、3. 受任者（理事と監事）としての基本的な義務、4. 監事の善管注意義務、5. 監事の責務（監事監査の目的）6. 監事の基本的職務、7. 監事の権限等、8. 役員（理事・監事）の法的責任が話され、業務監査と監査調書作成のポイントとして、1. 監査環境の整備、2. 監査から監査報告までの流れ、3. 監査計画の策定と工夫、4. 監査報告に記載すべき内容を意識して、4. 業務監査とは、5. 業務監査の方法として①内部統制システムに係る監査、②理事会への出席、③理事会以外の重要な会議出席、④報告の聴取、⑤重要書類の閲覧、⑥本部・支所・店舗その他事業所の実地調査、⑦生協法が特に規定する理事等の行為に係る監査、⑧組合不祥事発生時の対応、⑨監査実施後の措置、理事会への助言・勧告、6. 監査報告の作成・提出について話されました。

その他期末監査事項、日生活協の情報プラザで「法規・内部統制・会計」のページで監事の必要な情報を提供しているので、参考されたら良いとの話で、監事研修会は終わりました。その後、個別に講師との相談がありました。



平成31年度

大分県予算編成並びに行政執行に関する要望書提出

2018年10月5日（金）「平成31年度大分県予算編成並びに行政執行に関する要望」を、県の生活環境部長室で行ないました。

この要請活動は毎年会員生協の意見を聞きながら実施しています。今回の要望は、①消費者行政の充実・強化、②食の安全・安心の推進、③生活協同組合の育成・強化、④大規模災害等の被災者支援と復興・再生及び今後の災害対策、⑤生活困窮者支援をさらに強化、⑥暮らしの安全・安心の確保、⑦農林水産業の育成、⑧医療・介護・福祉についての8つのテーマです。

当日は、県生活環境部より山本章子部長をはじめ4名、生協県連は、青木博範会長理事を含め役員9名が出席しました。

最初に、参加者の自己紹介があり、青木会長理事より山本生活環境部長に要望書を手渡し、続いて、県生協連の青木会長理事より「日頃より、生活環境部のみなさんには県民の消費者行政・福祉・暮らしを良くする活動にご尽力されていることに感謝し、生協運動にご支援とご協力をいただいていることにお礼申し上げます。



先般開催された全国県連責任者会議で、厚生労働省の話しとして、今、地方の課題は行政だけではできない問題もあり、消費者団体でも協力をいただきたい。また、自然災害は今年も西日本豪雨災害、台風21号での災害、北海道胆振中部地震での被害で全国の生協の仲間と共に、災害支援を行っており感謝します。さらには、少子高齢化の中で生協を中心とするネットワークで地域の生協が活動してほしいとお話しがあり、我々としても積極的に取り組むことにしております。今回も消費者行政から医療・介護まで幅広い分野での要望となっています。ご検討をいただきたい。」とあいさつがあり、要望書について太田専務より消費者行政をはじめとした8項目の概要について説明があり、12月末までに回答いただくようお願いしました。

その後、山本部長より「本日は平成31年度の県行政に対する要望書をいただき、詳しい説明をいただきましたが、大分県生活協同組合連合会におかれましては、消費者行政、食の安全・安心、環境や福祉や災害支援等にご協力いただいていることに感謝申し上げます。また、九州北部豪雨での義



援金やボランティア活動にご協力いただいたことにも感謝します。県民の安全・安心の確保は大切であり、今後も充実させていただきます。こうした活動に応援いただき感謝します。いただきましたお話しにつきましては多岐にわたるものでありますが、私どもの部署や福祉、県民に身近な生活者の団体である連合会から私ども共通の課題であると考えているところもあり、宿題をいただいた思いであります。

新しい問題につきましては頭をなやませる問題もあるかもしれませんが、それぞれ誠実に考えて回答してゆきたいと思います。私どもも改善はしてゆきたい。今日いただきました要望については多くの部局に関係するものもありますので、関係する部署とも連携して回答する。」と述べられ、その後、意見交換を行いました。

第24回大分県生協大会開催

県生協連に加盟する12の生協は、生協運動の発展と会員相互の交流を深めるために、「第22回大分県生協大会」を県生協連主催で10月24日（水）全労済ソレイユにて開催しました。

この日は、県下の会員生協組合員や役職員など約87名が参加し、大会は、大分大学生生活協同組合の松浦和規専務理事（県生協連理事）が総合司会となり大会がはじまり、主催者として青木博範会長理事が「今年の日本生協連の通常総会で全国の生協でSDGsに取り組むことを宣言し決議されました。その上で青竹さんに是非、大分県生協大会に来ていただいて、講演をいただきますませんか」とお願いしました。一点だけ報告をさせていただきますが、5年に一度の厚生労働大臣表彰がありますが、生協関係で30団体40名個人表彰となります。大分県ではこれまで個人表彰として過去ありますが、団体としてはコープおおいたがはじめての表彰されることになりました。」とあいさつがありました。

引き続き、来賓あいさつで吐合史郎大分県労働者福祉協議会専務理事のあいさつがあつて、講演となりました。

講演は、一般社団法人「日本協同組合連携機構常務理事の青竹豊氏が「生協・協同組合の可能性をひろげ地域を元気に」と題して講演されました。

講演内容は、JCA設立の背景と経過では、少子・高齢化・人口減少で地域・生活を支える力の弱体化、貧富の拡大、若年層や弱者の就労機会、社会的孤立、地場産業の衰退や過疎化などによる地方の活力低下。こうした問題の解決に向けて協同組合の役割が期待されるなか、協同組合が今まで以上に地域・県・全国で連携を強め、「持続可能な地域のよりよい暮らし、仕事づくり」に取り組んでいくことの必要。そのために、連携を促進し、協同組合の共通の価値を高める新たな組織の整備・充実が必要とされた。2016年秋から検討を開始、2018年2月、日本協同組合連絡協議会（JJCC）が「新たな連携機構への移行」を決定、2018年4月1日に発足した。

現在、会員構成は1号会員で日生協やJA中央会の中央組織18組織、2号会員はJA都道府県中央会、日本共済協会、3号会員はJA、生協、森組、漁協、各種協同組合および連合会である。

主な活動は、1. 協同組合間連携の推進・支援・広報、2. 持続可能な地域のよりよい暮らし、仕事づくりに向けた教育・調査・研究、（1）協同組合に関する教育・研究・調査、（2）地域社会と農林水産業等に関する調査・研究、（3）会員等からのニーズに応えた調査・研究の受託、（4）食育・食農に関する調査・コンサルティングである。

お話しは、国際協同組合同盟、協同組合のアイデンティティに関するICA声明、協同組合原則、協同組合とは、協同組合・株式会社・NPOの違い、生協における組合員組織の推移、協同組合の役割～生協の歴史と未来から考える～1. 日本の生協の歴史（戦前・戦後）、2. 賀川豊彦の歴史、高度生協と消費生活、社会と生協の役割の変化、組合員数・世帯加入率の推移、コープ商品のエシカル消費対応、これからの生協への期待、厚生労働省の地域社会での期待、2040年の日本の姿、協同組合とSDGsでは、SDGsとは、SDGsの背景、SDGsと協同組合、協同組合間連携で役割を広げるでは、子ども居場所づくり、高齢者の仕事づくり・まちづくり、地域の困りごと解決、NPO法人フードバンクの取り組み、最近の地域づくりの連携事例が話され、最後に歴史や未来、SDGsから、期待される役割を考えてみよう、元気に、楽しく、多様に、地域へ、自分も生協も変えてゆこう、協同組合連携でともに進めようと締めくくりました。

意見・質問では、SDGsについてJCAではどうしているのか、他の生協ではどう取り組まれているのか教えてほしい等の質問があつて本年度の生協大会は全て終了しました。



2018年度役職員研修会開催

大分県生協連に加盟する、県下11生協の役職員の代表49名が参加して、「役職員研修会」が11月22日（木）、大分市の全労済ソレイユ7階アイリスで開催されました。

はじめに、主催者を代表して青木博範会長理事があいさつの後、来賓として森崎純次大分県消費生活・男女共同参画プラザ所長と井田雅貴適格消費者団体大分県消費者問題ネットワーク理事長のあいさつがあり、講演となりました。

講演は、梶原清司大分県消費生活・男女共同参画プラザ消費生活班主幹が講師となり、「景品表示法」について講演をいただきました。

講演内容は、最初に景品表示法とは、不当な表示や過大な景品類の提供による顧客の勧誘を防止するため、一般消費者の自主性かつ合理的な選択を阻害するおそれのある行為を禁止するなどにより、一般消費者を保護することを目的とする法律であります。本日はこの景品表示法を中心にお話いただきましたが、関連する公正競争規約は、景品表示法を根拠に、個々の商品・サービスごとに設定された業界の自主ルールです。公正競争規約が設定されている業界では、規約に参加する事業者が規約を遵守して適正な表示や景品類の提供を行うことにより、一般消費者が安心して商品・サービスを選択できる環境を整備しており、規約は、景品表示法の目的の達成に重要な役割を果たしています。

景品表示法について、景品表示法の概要でその仕組みは一般消費者の利益保護のために不当な顧客勧誘取引の禁止として、不当な表示の禁止では表示とは、事業者が商品・サービスの内容、取引条件について行う広告等の表示、例えば、チラシ・パンフレットや説明書・ポスターや看板・新聞や雑誌に掲載された広告・テレビCM・ウェブサイト等、過大な景品類の提供の禁止では景品類とは、例えば一定額以上の買い物をした人に抽選で提供される賞品・来店者にもれなく提供される粗品、商店街の福引きセールで提供される旅行券等で一般懸賞は商品・サービスの利用者に対し、くじ等の偶然性、特定行為の優劣等によって景品類を提供することで、取引価格が5,000円未満は最高額は価格の20倍、5,000円以上は10万円で、総額は売上予定総額の2%と限度が設定されています。

共同懸賞は、商店街や一定の地域内の同業者が共同して行う懸賞で中元・歳末セール等で年3回、70日まで、最高額は取引価格にかかわらず30万円、総額は予定売上総額の3%、総付景品は商品の購入者や来店者に対し、もれなく提供する景品で取引価格が1,000円未満は最高額は200円、1,000円以上は取引価格の2/10です。

不当な表示には、優良誤認表示は商品・サービスの品質、規格その他の内容についての不当表示、例えば、10万キロ以上走行した中古車に3万キロと表示した場合、この技術は日本で当社だけと表示しているが実際は競争事業者も同じ技術を使っていた場合。有利誤認表示は商品・サービスの価格その他の取引条件についての不当表示で、例えば、優待旅行を特別価格5万円で提供と表示しているが、実際は通常価格と変わらない場合、他社商品の1.5倍の量と表示しているが、他社商品と同程度の内容量しかない場合。

その他は一般消費者に誤認されるおそれがあると認められ、内閣総理大臣が指定する表示等があります。これらに違反した場合には、措置命令と課徴金納付命令があるので注意してほしいと話されました。



県生協連主催 第29回スポーツ交流会が開かれた

本年度もボウリング大会を行いました。

県連主催「スポーツ交流会」は、秋を感じさせる季節のする11月17日（土）に第29回スポーツ交流会は、本年度よりボウリング大会としてOBSボウルで行われました。

この交流会は、県内生協間の連帯と組合員の交流を通して、県内における生協運動の発展をはかることを目的として毎年開催しているものです。本年度もすべての生協が天候に左右され、誰でも参加できる競技は何かを求めたものとしてボウリング大会を開催することになり、11の加盟生協から95名が参加して開催されました。

試合に先立ち、開会式が行われ、主催者を代表して太田耕作県連専務理事のあいさつと参加生協の選手を紹介して、始球式後に競技が開始されました。

試合は、OBSボウルの26レーンを使用して1人2ゲーム方式で熱戦となりましたが、第1位は日田市民生協の菅彩香さんがトータル426で、第2位は大分県高校生協の長井剛さん、第3位はコープおおいたの藤井涼さん、第4位は日田市民生協の田中初美さん、第5位はコープおおいたの古田美智子さんで、以下5及び10位ごとにトビ賞があり、第29回大会から第29位の大分県学校生協の朝倉勇太さんに特別賞、ブービー賞に大分大学生協の前野ともあきさんに贈られました。

最後に、閉会式では表彰式があり、参加されたみなさんから大変楽しく遊ばせていただき、来年度はもう少し練習して参加したいとの声をいただきました。



開会式



投球



スペアー取るよ



成績発表



2018チャンピオン

コープおおいたが
「厚生労働大臣表彰」を受賞しました！



私たちの生協が今回「厚生労働大臣表彰」を初めて受賞しました。10月30日（火）に厚生労働省講堂で表彰式が開催され、全国で活躍している役600の生協の中から30生協と役員40人が受賞しました。

その後、日本生活協同組合連合会主催の祝賀会が開催されました。組織支援本部の廣瀬孝本部長を付き添い人として出席してきました。式典に出席した根本大臣から、受賞者に感謝の言葉とともに表彰状・記念品を贈っていただきました。

この表彰制度は、1948年に施行された生協法を機に、5年に一度、活発な組合員活動と、健全な事業経営の状態が続いていることを前提に、特に顕著な地域社会貢献活動を展開していること、行政や地域からの支枝があること、積極的に災害支援等に取り組んでいること等、他の模範となる活動に取り組んでいることが選考の条件になっています。

私たちの生協はこの5年で、組合員数が16.5万世帯になり、世帯加入率が34%を超えました。組合員出資金は55億円を越え、平均出資金も年々増えています。併せて、当期剰余金が5年間続けて黒字を計上できたことが前提条件に合致しました。

今回の受賞を機に、さらなる情報発信に努め、組合員とご家族はもとより、一人でも多くの県民のみなさまに、生協活動の良さを伝えていきます。



生活協同組合コープおおいた

おにぎり学院〜つだつよしさんとなっぽんのおにぎりを握ってみよう〜 10月28日(日)

18名の子どもたちが参加し、学校法人 田北調理師専門学校（田北学院）のつだつよし学校長から、おにぎりの歴史や「おにぎり」と「おむすび」の違い等を食育の視点からレクチャーしていただきました。おにぎりを作るときに田北学院の生徒さんのレクチャーのもと三角おにぎり、俵おにぎりを握り、最後は自由に好きな形で握りました。熱心に、そして楽しそうに握っている姿が印象的でした。最後に子どもたちの握ったおにぎりを親子でおいしくいただきました。



広瀬県知事へ厚生労働大臣表彰受賞のご報告 11月8日(木)

コープおおいたが長年取り組む、食の安心安全や地域のくらしに寄りそった活動、社会貢献の取り組み、大分県と結ぶ地域包括連携協定などを懇談しました。



知事より「いつも、県内のくらしのためにコープおおいたが行う取り組みを拝見しています。今後もますますの活躍を期待しています。」というお言葉をいただきました。

また、青木理事長は「A型就労事業所の開設、女性活躍推進、児童・介護福祉施設の運営など、幅広い世代にとってより住みよい大分県のため、今後も事業を展開してまいります。」と話しました。

震災時の米粉離乳食から学ぶ〜非常時から日常食としての米粉〜 11月5日(月)

米消費拡大に取り組む大分県との共催企画です。講師に管理栄養士の相藤春陽さんにお越しいただきました。相藤さんは管理栄養士やフードコーディネーターの知識と経験を活かし、熊本大分地震の発災後、離乳食支援として熊本市内の避難所に米粉と野菜ジュースと少量の水を入れて練り上げた離乳食を提供しました。米粉でつくる利点は、グルテンフリーでアレルギーへの対応が可能、米と違い洗う行為がいらぬ。硬さをコントロールできるなど離乳食に適しており非常食としても活躍します。実際に大分県産の米粉をだし汁でといた「米粉離乳食」と



「かぼちゃ米粉プリン」を作ってみました。子どもの頃から塩分控えめでだしを利用した料理は味覚が豊かになるそうで、お母さん方からも様々な質問が出されとても有意義な会となりました。

日田市民生活協同組合

主な活動紹介



組合員大会グランドゴルフ大会



9月18日、組合員300名参加による『グランド・ゴルフ大会』が開催されました。

本大会も今年で16年目を迎え、その参加者数も年々増加し、日田市民生協が主催する、組合員スポーツ大会の中でも最も盛大で、にぎやかな大会となっております。

組合員感謝企画日帰りツアー

組合員感謝企画といたしまして、バスツアーを昨年に続き企画し、今年は山口ゆめ花博に10月初旬の1週間、約500名の組合員参加のもと開催いたしました。

2回目の企画となりましたが、多くの皆さんに喜んでいただきました。



第28回組合員ミニバレー大会



10月14日、第28回組合員ミニバレーボール大会が組合員168名14チーム参加のもと開催され、終日熱戦が繰り広げられました。

優勝はチェルシーチームホップステップジャンプチーム、準優勝はミラクルチームとなりました。

グリーンコープ生活協同組合おおいた

2018年度みんなのふくし交流会報告

7月19日（木）J：COMホルトホール大分で「2018年度みんなのふくし交流会」を開催しました。188人の参加があり、2018年はグリーンコープ生協おおいた30周年、おおいたで100円基金（組合員さんから毎月100円を拠出いただき、福祉に関する活動に助成する）が始まって20年という節目でもあります。例年とは趣向を変えて、NPO法人抱撲理事長の奥田知志さんに講演していただき、100円基金報告では2017年度助成団体に加え、過去の助成団体にも声掛けをしました。活動報告やポップ展示、販売などを通じて参加者が交流を深め、地域の方々にもグリーンコープの福祉をアピールする場となりました。



グリーンマルシェ 2018 ～「食」から始まる豊かなくらし～

9月22日（土）、グリーンコープ連合30周年記念まつり「グリーンマルシェ 2018」を開催しました。会場の大分駅北口駅前広場は、わさだ♥りすの森保育園の子どもたちによるダンスによるオープニングからたくさんの来場者で賑わいました。青果生産者とのじゃんけん大会やりんごの詰め放題、赤ちゃんレースやワークショップも大盛況でした。また、メーカー出店のすぐ横には、グリーンコープと共催の「スポーツ・オブ・ハート2018 in 大分」の車いすバスケットボールやパラ卓球、ボッチャなど、障がい者スポーツの体験コーナーがあり、「グリーンコープらしさ」＋「スポーツの祭典」と盛りだくさんの1日になりました。



大分県学校生活協同組合

山香龍船 みずちの里
稲刈り体験体験交流会

10月27日土曜日、組合員さんとそのご家族40名程の参加で恒例の山香りゆせん米稲刈り体験交流会を開催しました。

前日の雨の影響で稲刈りが出来るか心配をしましたが当日は天気が良く、秋晴れとなりとても気持ちの良い汗をかきながら稲刈りや芋掘りを行いました。



一面に広がる黄金色の田んぼの中で参加した小さな子どもさんも都甲さんや山香地区のみなさんに稲の刈り方の手ほどきを教わり上手に鎌を使って、たわわに実った「もち米」を刈り取っていました。子ども達は大きなコンバインに乗せていただきとても喜んでいました。

昼食は恒例のだんご汁と新米のおにぎり。だんご汁が大変好評で「おかわりを下さい。」と何度も声がしていました。朝からお昼の準備をしていただいた山香地区のお母さんたちに感謝しながら美味しくいただきました。



午後からは鎌を置いてスコップや鍬を持ってさつま芋掘を行いました。5月に植えた苗が大きく育ち、子ども達は歓声を上げながら芋の収穫を楽しんでいました。地域のみなさんと和気あいあいと交流ができ、参加者全員とても楽しい秋の1日をすごしました。



大分大学生生活協同組合

ポッキーの日（生協学生委員会企画）

大分大学では、多くの学生さんは、旦野原ハイツ地区のアパートに住んでいます。旦野原ハイツ地区から、大分大学までは、住宅地なのでお店もないため、日常的には刺激が乏しい大学生活になっています。そこで、大学内を盛り上げ、組合員が、大学に来ることや生協ショップに来ることを、楽しいと思ってもらいたいという考えから、この企画は生まれています。

この企画は、大分大学生協学生委員会（約30名）が企画していますが、その知名度を上げるためにも実施しています。企画内容は、以下のようになっています。

①サイコロチャレンジ

- ・サイコロを3つ転がして、ゾロ目で（1.1.1）

又は

- ・さいころを3つ転がして、合計が11で景品プレゼントする

②割り箸一本を時間内（11秒）に立てるチャレンジ

- ・制限時間内に割り箸を縦に立てることができたら景品をプレゼントする

③マッチ棒11本を使って謎解き

- ・マッチ棒を使って、制限時間内（問題の難易度による）に解くことができたなら景品をプレゼントする

④ストップウォッチで11秒チャレンジ

- ・ストップウォッチを使って11秒（11.00～11.22）で止めることができたなら景品をプレゼントする

⑤平成11年11月11日が誕生日の人にポッキーをプレゼントする

ポッキー購入者は、659人でした。昨年（866人）より少なかったのですが、店内は学生委員会の呼びかけなどで盛り上がりました。

大分大学留学生と一緒に活動、生協留学生学生委員会の取り組み

大分大学には約130人の留学生がいます。そのうち5名の留学生と日本人学生とで一緒に、生協留学生学生委員会で活動をしています。活動としては、日本人学生との交流や留学生メニュー企画の取り組みなどを行っています。

留学期間が半年程度の留学生も50名程度おり、自転車の入手と譲渡について毎年苦労していることを聞きました。現在そのことについて検討を行っています。

また、11月には留学生メニューの提供を行います。メニューを考え、試食なども行った後、生協食堂で提供します。本年度は以下のメニューを提供する予定です。

青椒肉絲	420食
トマトとたまごの炒めもの	220食
シュウマイスープ	1020食

*シュウマイスープは、中国では普段食べないそうですが、日本人学生のアイデアで作っています。

TOPICS

大分県労働者総合生活協同組合

住宅事業について

【分譲部門】

下記3団地にて建築条件付宅地好評販売中です。
詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

◇大分市大在地区(角子原)「あすみの丘」

◇大分市南生石「ビューステージ高崎台」

◇別府市鶴見「新別府」



【リフォーム部門】

戸建住宅の外壁や屋根の葺き替え、キッチンやお風呂など、様々なリフォームを扱っています。お客様のご希望に合ったプランのご提案をさせていただきます。

【問合せ先】大分県総合生活協住宅課 0120-557-887

旅行センターについて

◇「レゾネイトクラブくじゅう」宿泊プラン

【2018年4月1日(日)～2019年3月31日(日)まで】 1泊2食付 9,980円から

＜お得なポイント＞ ・60分貸切湯無料(要予約) ・1部屋2名様も同料金
・休前日利用でも1,000円UPのみ

◇「忘新年会プラン」

【2018年11月1日(木)～2019年2月28日(木)まで】

大分県内協定旅館・ホテル、大分市内ホテル、居酒屋関係の手配もしております。

幹事さんのご要望に沿ったさまざまな施設のご提案をいたします。

◇大分市内・別府市内宿泊プラン

【2018年4月1日(日)～2019年3月31日(日)まで】

大分市内、別府市内での会議、懇親会後の宿泊として皆様にご利用いただいております。

大分市内：7施設 別府市内：5施設を設定

総合生協中央パーキングについて

【時間貸し料金】

・昼間(8時～18時) 45分100円	昼間最大800円
・夜間(18時～8時) 60分100円	夜間最大500円



【お得なプリペイドカード】

・10,000円券を7,200円で販売 ・5,000円券を4,200円で販売

*おさるのマーク、「大分市中心市街地共通駐車券」の加盟駐車場です。
全労災ソレイユや大分市中心部商店街にご用の際は是非ご利用下さい。
なお、おおいたパーキングNaviで、駐車場の空き情報もわかります。



大分県勤労者医療生活協同組合

秋の生協強化月間

毎年、10月・11月は生協強化月間です。

勤労者医療生協では、この強化月間の取り組みとして、様々な組合員行事を行っています。

9月には、キックオフ集会も兼ねた健康クラブの「囲碁大会」、10月は地域の方々との交流を深める「グラウンドゴルフ大会」、11月は健康クラブの「バスハイク」、12月は「ミニバレーボール大会」や「餅つき大会」と、楽しい行事が並んでいます。(健康クラブ：大分協和病院を利用される組合員の皆さんで、健康づくりをしながら交流・親睦をはかろうという趣旨の集まり。組合員で50歳以上の方が対象。入会金・会費は無料。)

11月のバスハイクは、「日向・延岡 ～神々の里へと続く道～」と題して、100名を超える組合員の皆さんと一緒に日向の「大御神社」や「はまぐり基石の里」、延岡の「佐藤酒造」へ行ってきました。

大御神社は、古くは天照皇太神宮と云われ、天孫瓊々杵尊が皇祖天照大御神を奉祀して平安を祈念したという由緒ある神社です。また、その周辺には日本最大級の「さざれ石」を観ることができます。



組合員の皆さんも、日向のお伊勢さまとも呼ばれる神社に参詣したり、見事なさざれ石をバックに写真を撮ったりと、楽しい時間を過ごされたようでした。

また、午後からの酒造見学では、焼酎の製造工程の見学や珍しい栗焼酎の試飲などをしていただきました。

また、バスでの移動時間には大分協和病院の薬剤師から、薬についての話をクイズ形式で行い、大いに盛り上がっていました。

大分県医療生活協同組合

健康づくりの輪を広げよう～2018年度大分県医療生協組合員交流集会～

9月1日(土)、大分県総合社会福祉会館にて組合員交流集会が開催されました。

この集会は、生協強化月間（9月25日～11月30日）に向けて、医療生協が果たす役割を確認し、仲間ふやしや健康づくりの輪を地域に広げることを目的としており、県内から143名の組合員さんが参加しました。

基調報告・活動報告～医療生協の役割って？～

田辺修専務理事より「今、医療生協に何が求められているのか」と題し基調報告がされました。報告の中で、「人口減少と高齢化が進む中、地域まるごと健康づくりという医療生協ならではの活動を通して人と人との結びつきを大切に健康づくりの輪を広げていきましょう」と提起しました。



記念講演～口の健康は命の質を豊かにする～

群馬県にある利根保健生協利根歯科診療所所長の中澤桂一郎先生を講師にお迎えして、「健康寿命を伸ばす医療福祉生協の健康づくり～お口の健康オーラルフレイルの予防～」と題し話をして頂きました。

講演の中で先生は、『食べる』ことは生きる基本であり、お口の健康を保つことが健康寿命に繋がる。また、肺炎やインフルエンザ予防には、あいうべ体操や鼻呼吸の大切さを班会で広げましょう」と、ユーモアを交えながら話されました。また最後に、「健康寿命を伸ばすには、ある程度の活動や社会参加が必要で、死ぬまで医療生協活動を頑張る事」が大切だと話されました。

『健康づくりの担い手』として～健康づくりサポーター養成講座開講～



10月4日(土)、大分健生病院にて「健康づくりサポーター養成講座大分教室」を開講し、市内12支部（市内は全部で13支部）から教室がほぼ満員となる28名が参加しました。

受講者は、血圧・尿・体脂肪・足指力・握力の5項目について実技を交えて学習しました。サポーター証が交付された受講者28名は今後『健康づくりの担い手』として班会や青空健康チェックの場での活躍が期待されています。

また、9月に日田市で行われた県北教室には18名が参加。10月29日には、津久見市でも県南教室を開催し21名が参加しました。

大分県福祉生活協同組合

ニコニコ オレンジの会

オレンジサロン「万」では、下記日程でイベント・カフェを開いています。

11月 6日：薬局何でも相談

12月 4日：高齢者人権学習会

13日：施設交流会

11日：忘年会

20日：俳句学習会

18日：俳句学習会

27日：お楽しみ会（何でも）

25日：お楽しみ会（何でも）



時間帯 13:30 ~ 15:30

※カフェは水・木交互の開催となります。

カフェ（毎月）

第1・3水曜

第2・4木曜

気楽に自由にお過ごしください。

ノルディックウォーク講習会・体験会



オレンジサロン『万』での講習会風景。
質問が飛び交い盛況でした。

8月7日、株式会社ウェルファン様より講師を迎えふくし生協主催でのノルディックウォーク体験講習会を開催いたしました。

ノルディックウォーキングでは、2本のポールで歩行運動を補助するため、器具なしの場合より膝・腰などへの負担が軽く、無理なく全身の筋力を鍛える効果が期待できます。

講習後の体験会には23名が参加され、近くの生協事務所まで賑やかにウォーキングを行いました。

次回もふくし生協でノルディックウォーク講習会を予定しております。ふるってご参加ください。



食事宅配サービス・ファミリーサポート隊募集！！

ファミリーサポート隊 スタッフ募集！

「仕事で培った技術を活かしたい」
「空いた1,2時間を有効活用したい」
「ピーパー草刈りなら任せて」
そんなスタッフをお待ちしています。



庭の除草・庭木の剪定・掃除
洗濯・不要品廃棄・買い物の
付き添い・その他

暮らしの中の「困った」を
手助けいたします！

サポート申込・スタッフ応募のお問合せは
ふくし生協事務局へ

☎ 0974-22-0650 (担当:藤川二郎)

365日、昼ター一日二回配達



ふくし生協のお食事宅配サービス！

「医食同源」をモットーに、ご利用お客様の体調に応じ、
持病の制限食など多彩なご注文に対応いたします。



ふくし生協事務局

TEL 0974 - 22 - 0650

(平日9:00~5:00)



給食センター直通

TEL 0974 - 22 - 6795

FAX 0974 - 22 - 2010

(土日祝日も受付)



調理は地元産食材を基本に、ふくし生協給食部で担当します。

2018年度第4回理事会報告

1. 日 時 2018年11月22日(木) 13時30分～14時45分
 2. 会 場 大分市中央町4-2-5 全労済ソレイユ 7階 ローズ
 3. 出席者 理事総数13名中、11名出席 監事総数2名中、2名出席

議 題

4. 議 事

<報告事項>

1. 活動報告

- 9/14 第3回理事会、県議会議員との懇談会・懇親会
 19 大分県総合防災訓練打ち合わせ会
 26 第2回県連組織委員会
 28 第6回会員生協監事研修会
 10/1 第2回大分県消費者団体連絡協議会
 3 九州地連第2回運営委員会・県連活動
 推進会議
 4 大分県消費者問題ネットワーク検討
 委員会
 5 大分県へ平成31年度行政執行及び予
 算要望書の提出
 10 大分県共同組合協議会清掃作業
 12～14 役員視察研修
 17 大分県消費者問題ネットワーク検討委員会
 19 大分市地球温暖化対策市民講座
 24 2018年度県連生協大会
 30 コープおおいた厚生労働大臣表彰式
 11/3 第2回大分県消費者問題ネットワーク理事会
 6 第2回大分市地球温暖化市民講座
 17 第29回スポーツ交流会ボウリング大会
 20～21 九州行政・生協合同会議

<単協報告・活動報告・活動計画>

会員生協月別報告

<審議事項>

- 第1号議案 「県行政との懇談会」について
 第2号議案 大分県と生協県連との連携した広
 報・啓発活動の要請について
 第3号議案 コープおおいた厚生労働大臣表彰
 受賞記念祝賀会の開催について
 第4号議案 西日本豪雨災害と北海道肝振東部
 地震の義援金について
 第5号議案 各部会の開催要請について
 第6号議案 定時職員就業規則一部改正について

4. その他

1. 2018年度第3回県連理事会議事録
 2. 2018年度損益計算書（4月～10月）